

進路通信

2026（令和8）年9月10日

第19号

枚方市立中宮中学校

推薦受験とは・・・？

以前にもお話したと思いますが、私立高校の受験には併願、専願、推薦の3通りの受験方法があります。併願で受験した場合は合格しても、その学校に入学手続きをする必要はありません。他に合格した高校があってそちらに行きたい場合は手続きをしないで、入学の権利を放棄することが可能です。その分専願や推薦に比べると合格の基準点が高くなるので合格するのが難しくなります。専願や推薦の場合は、合格したら入学を辞退することはできません。では、推薦と専願はなにが違うかわかりますか？もちろん推薦の方が専願よりも合格の可能性は高くなります。ただ、専願で受けるのに条件はありませんが（受かる受からないとは別として）、推薦で受けるには条件があります。そもそも、その高校に推薦という受験方法があること。そのうえで、その**高校が定める基準をクリアすること**。学力であれば5段階の評定がいくつ以上など。クラブの場合は基準ははっきりしていないことが多いです。高校の方で中学の実績を見て、推薦で受験できますよ、と連絡があることが多いです。その基準を満たせば推薦受験の資格を得たことになるわけですが、一部の通信制などで実施されている自己推薦を除いて、**中宮中学校が発行する推薦書**が必要になります。これは中宮中学校の校長先生が、この生徒は優秀な生徒ですから推薦しますよ、ということを書いて校長印を押したものです。ただ、誰でも推薦できるわけではありません。もし、推薦書を書いて高校に合格した生徒が、高校で成績が悪かったり、素行がよくなかったりした場合、次に推薦で受験しようとした後輩が、「中宮中学校の推薦は信用できない」と高校の先生に思われます。ですので、**基準を満たしたからと言って誰でも推薦できるわけではない**のです。推薦での受験を希望する場合は面談を受けてもらいます。面談は校長先生、教頭先生、進路の先生（大石）のいずれかで行います。その上で、この生徒なら高校に行ってもちゃんと頑張るだろうと判断すれば推薦書を書いてもらうことができます。もちろん、その面談の内容だけで決まるわけではありません。普段の**授業態度や生活態度**など、担任の先生や教科の先生、クラブの顧問の先生からの報告をすべて聞いた上で判断します。ですので、その場だけ取り繕ってもだめです。授業妨害や授業中に寝るなんてもってのほかです。遅刻しない、不要物を持ってこないなどの学校のルールをきちんと守る。そういったことがきちんとできて初めて推薦の資格を得ることができるのだと思ってください。